

環境と医療

わが国は高度成長期に公害を経験し、克服しました。公害は明らかに人の健康に害を与えるものでした。今の環境汚染は“薄く”“広い範囲”に長期間蔓延するため、緩やかに人の健康をむしばんでいます。

地球温暖化は産業革命とともに急速に進行し始めました。そして地球温暖化は糖尿病の有病率と正の相関があるとされています。人の移動に消費するエネルギーやフードロスの多い豊かな生活は、糖尿病の有病率を上昇させるのです。

我々は、地球環境の限られた資源を分け合い、享受しています。新薬の開発は目覚ましく、熱帯雨林の苔から膨大な開発費をかけて新薬を造り医療に提供されますが、採取した苔を有する地域の人々には、その利益が還元されていません。

具体的には、新薬の開発に使われた熱帯雨林の苔の採取により、地域の生態系が損なわれ、生態的なバランスが崩れるという代償を負う一方、その苔から開発された高額な新薬を購入できず、その地域に住む貧困住民は、新薬の利益を享受することができません。これは外部不経済であり、内部化すべきです。

我々共同代表は2人で20年間生活習慣病、腎臓病、透析治療に取り組んでまいりました。健康と深く関わりのある環境に敬意を払い、このような外部不経済を少しずつ克服する取り組みを実践したいと思います。

We do not inherit the earth from our ancestors, we borrow it from our children.

私たちは地球を先祖から受け継いだのではなく、子供たちから借りています。

レイチェル・カーソン